

大会宣言

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果をあげてきた。

知識基盤社会化やグローバル化が進む中、改正教育基本法に基づき教育振興基本計画が策定され、平成二十一年四月からは学習指導要領の先行実施が始まった。本会では第六十回香川大会から、大会主題「新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を設定し、研究と実践に組織をあげて取り組んできた。

現在、我が国は、先行き不透明な状況の中で少子高齢化が進み、消費停滞や雇用不安など低成長時代の中にある。このような情勢を背景に、地球環境に配慮した経済への効果的な対応や、歴史や伝統、文化の再評価など、「知」の創造・継承・発展を目指す持続可能な社会形成への要請が高まってきている。学校教育においては、自分の夢や希望の実現に向けて挑戦するたくましい子どもを育てるとともに、社会の一員としての自覚と責任をはぐくむことが求められる。

それを実現するためには、校長のリーダーシップのもと、基礎的・基本的な知識や技能の習得・活用を図るとともに、生活の場である地域社会において、自然体験や地域の歴史・文化、多様な人々とふれ合う体験的な活動を通して、互いに認め合い、支え合いながら共に社会に参画できる人間、自然と共生し、良好な環境を創造していく人間をはぐくむことが大切である。

私たち校長は、鋭い先見性と高い教育理念のもと、北海道大会における副主題「ふるさとに誇りをもち、夢や希望に向けて挑戦する子どもの育成を目指す学校の在り方」の解明に向けて全力を傾注し、国民の信託に応えなければならない。

ここに、第六十二回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

記

- 一、新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成
- 一、ふるさとに誇りをもち、夢や希望に向けて挑戦する子どもの育成
- 一、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の向上を図る創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核に据えた心の教育の一層の充実
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会の教育力の向上
- 一、安全で安心できる教育環境づくりと子どもの居場所づくりの推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実

右、宣言する。

平成二十二年十月一日

第六十二回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会